

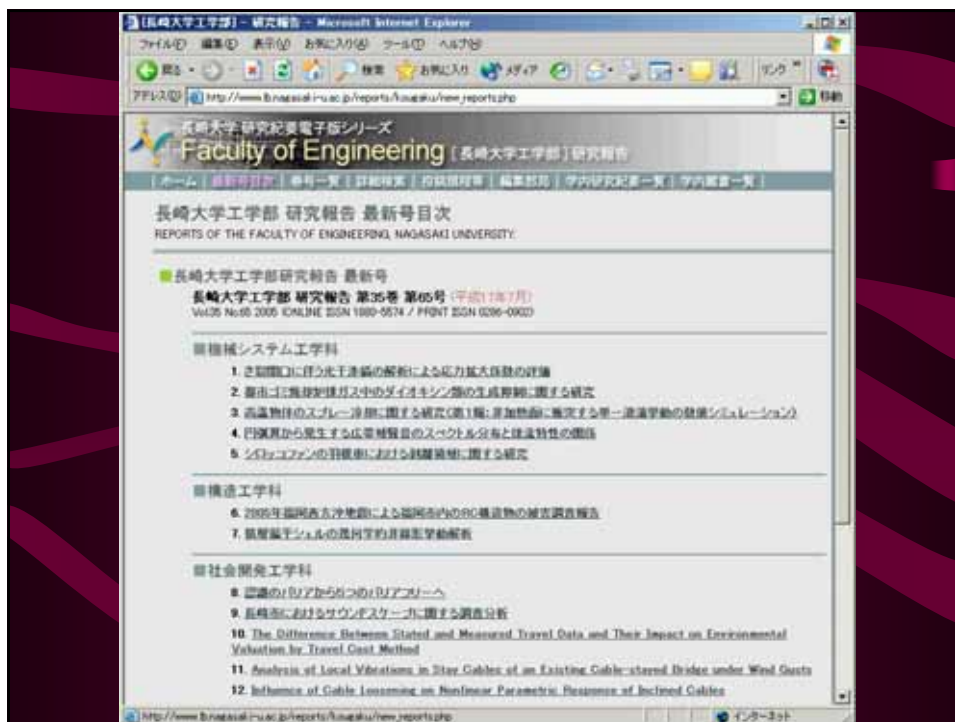
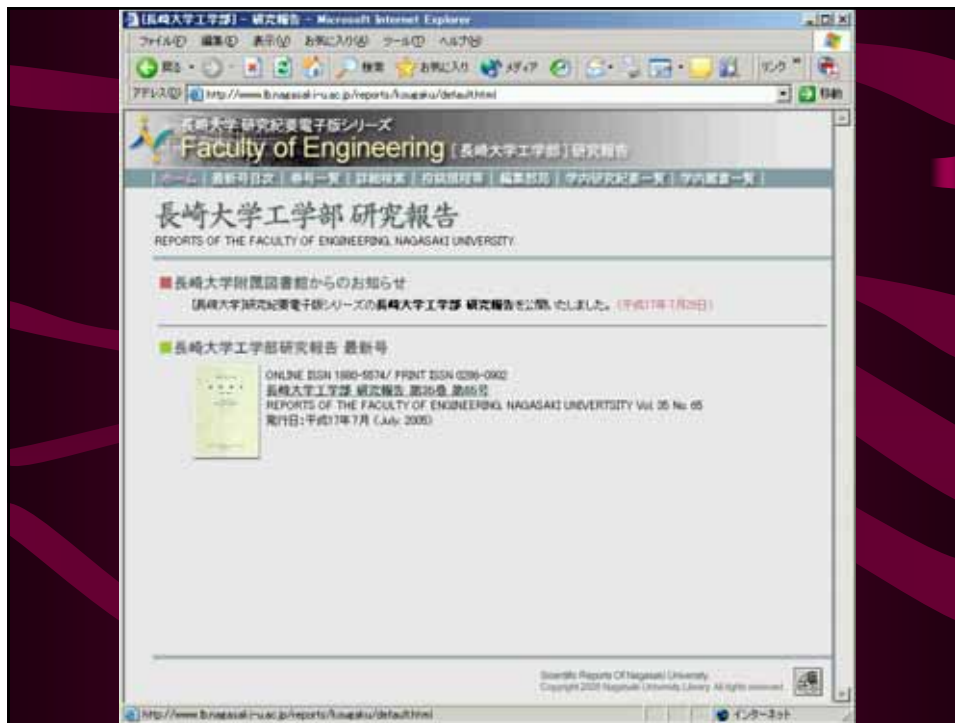
長崎大学における研究紀要の 電子出版

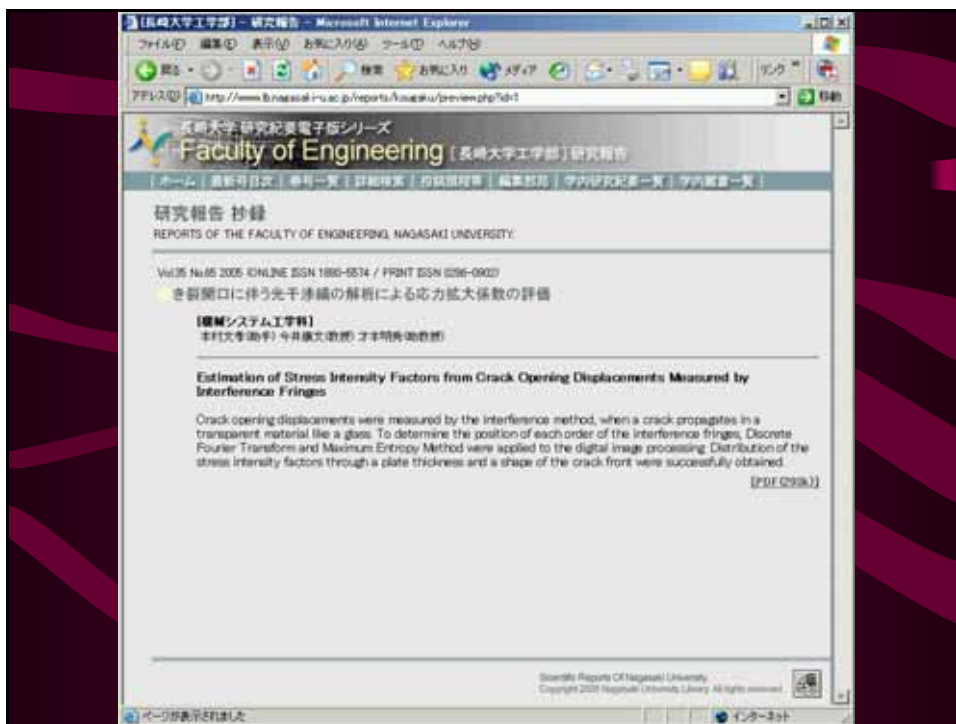
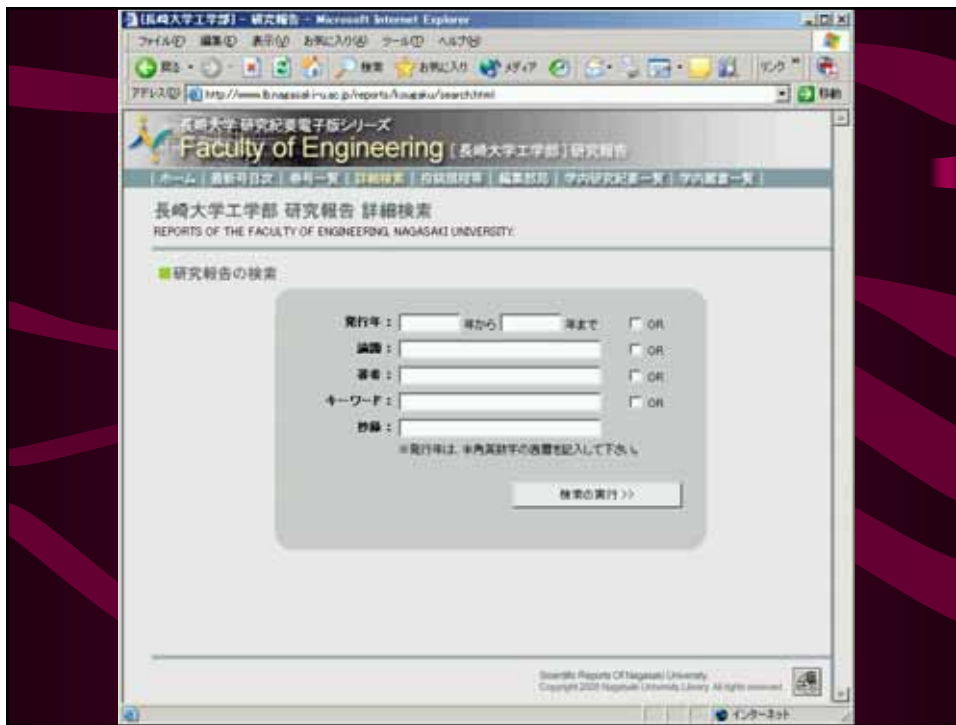
～ 附属図書館による電子ジャーナル化の支援～

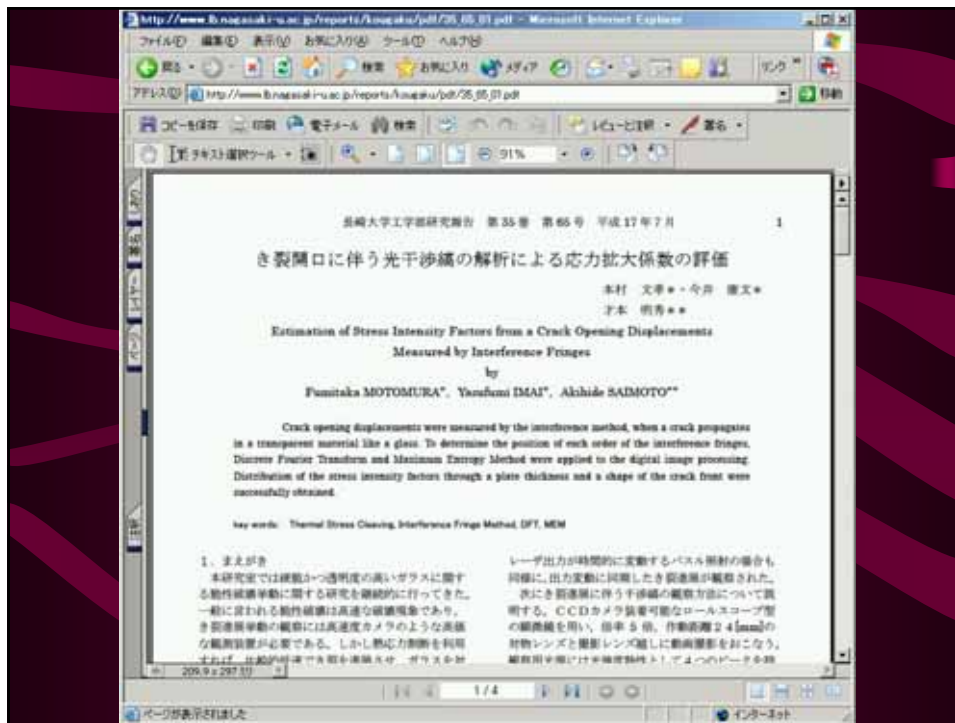
長崎大学附属図書館
平林 昇

長崎大学の研究紀要

1. 発行状況
 - 現行24タイトル / 年1～4回 / 200～1,200部
2. 発行経費 18/24タイトル
 - 部局: 25～450万円 全学: 約1,300万円
 - 内訳: 冊子の作成 + 関係機関への配布
3. 電子化の状況
 - 冊子体のみ: 著作権処理がネックか? ... 8
 - 電子版あり: 一部 by NII / JST / 図書館 ... 16
 - 電子版のみ: 『工学部研究報告』2005～ ... 1







電子出版の利点：コストの削減

1. 工学部の場合：約150万円 10万円
2. 発行経費の削減
 - 冊子体をなくすことにより実現
 - 冊子：組版 + 印刷 + 製本 組版のみ
 - 配布：封筒代など + 郵送料 (+ 人手) 不要
3. 管理経費の発生
 - 初期設定：初年次のセットアップ
 - 保守経費：バックアップ, システム保守, 消耗品
 - サーバ経費：図書館サーバの導入及び更新

電子出版の利点：可視性の向上

1. インターネットでの無料公開
 - 紀要論文の認知及び入手の機会が増大
 - 新たな読者：学生，民間研究者，一般市民
2. 説明責任の履行
 - 国立大学法人の教育研究活動 = 公的資金
 - 研究成果の無料公開：英米では議会で勧告
3. 学術機関リポジトリ
 - 知的生産物の収集・保存・公開用電子書庫
 - メタデータ(検索のための二次情報)の交換

電子出版までの道のり

1. 合意の形成：電子ジャーナル化，冊子体の続否
2. 著作権の処理：許諾内容の確定，規程の改正
3. 電子版の設計：トップページ，画面構成，
ページレイアウト，原稿フォーマット etc.
4. 原稿募集：フォーマット指定
5. 書誌データ：検索用データ(メタデータ)の作成
6. 組版作成：自前 or 外注，縦書きの有無
7. データ登録：PDF化，CD-R作成，サーバに搭載，
e-mailによる発行及び目次の報知

3 研究紀要電子版発行事業のご案内 Microsoft Internet Explorer

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kiyo/publishing.html>

附属図書館サーバによる研究紀要電子版発行事業のご案内

平成27年6月27日
※このページのPDF版

1 事業の目的

附属図書館サーバによる研究紀要電子版発行事業は、本学において生産される研究紀要を電子的手段によって保存・公開し、国内外に提供することにより、研究・教育・学習活動を支援し、学術の発展に貢献することを目的とします。

2 研究紀要の定義及び著作権処理

ここで言う研究紀要は、本学において時期を定せず継続的に発行される、研究論文を収録した刊行物を指し、掲載する研究論文の著作権処理に関する事項を投稿規定に記載する等、附属図書館サーバによる著作物の電子の保存・公開・提供に対して、必要な許諾を得ているものとします。

3 参加申し込み

本事業への参加申し込みは「附属図書館サーバによる研究紀要電子版発行事業参加申請書」により受け付けます。

4 サーバへの登録・保存・公開

附属図書館は、以下により研究紀要電子版をサーバに登録・保存・公開し、利用者に提供します。

- (1) 研究紀要電子版は目次及び巻頭の事項(テキストファイル)とそれらにリンクされた個々の研究論文等(テキストデータ埋め込みPDFファイル)からなるものとします。
- (2) 研究紀要電子版の受け渡しはOJ-Rによって行ないます。
- (3) 附属図書館は、受領したOJ-Rを保存するとともに、サーバに研究紀要電子版を登録し、インターネット上に公開して利用者に提供します。
- (4) 附属図書館は研究紀要電子版をインターネットに接続された標準的なコンピュータ環境でアクセス及びダウンロードできる状態に永続的に保ちます。
- (5) 附属図書館は研究紀要電子版の誌名を図書館ホームページ上の「[資料研究紀要一覧](#)」、「[電子ジャーナルリンク集](#)」及び「[学芸図書検索](#)」に掲載します。